

平成28年度 日本海にぎわい・交流海道ネットワーク

《 会員からの各市町紹介 》



■利尻町副町長 田尻 隆志

ただいまご紹介をいただきました利尻町の副町長の田尻と申します。

それでは私の方から本町の紹介をさせていただきます。利尻町は稚内より海上52km隔てた利尻島の西南部に位置しておりまして、秀峰利尻山を背に隣町の利尻富士町と接しており、全国的にも有名になっております、利尻昆布、うに、なまこなど、日本海の海の幸に恵まれた漁業と観光の町であります。本町の人口は昭和30年の1万人をピークに鯨漁の衰退と共に減少傾向が続いており、現在では約2,200人ほどとなっております。人口減少や少子高齢化が進んではおります状況ですが、定住、移住を促進するために漁業研修事業等をはじめとして、漁業体験研修生として来られた方などが漁師として十数名が定住をしている状況であります。漁業につきましては、磯漬漁業が主な漁業形態であることから、獲る漁業から作り育てる漁業や漁場管理型漁業への転換を図りまして、養殖昆布事業、うに、なまこ等の人口種苗生産を行い放流するなど、栽培漁業の振興にも力を入れております。また観光につきましては、「利尻でゆっくりしませんか」を合言葉に多様化する観光ニーズに応えるため、官民や異業種、地域間連携を行いまして、交流人口を増加させ、滞在交流できる島作りに努めております。中でもクルーズ船寄港対応では、平成18年に耐震岸壁が完成したことにより杓形港へ3万t以下のクルーズ船の接岸が可能となっており、

毎年につぼん丸やばしふいっくびいなすが寄港し、船内での歓迎イベント等を実施しているほか、客船向けのフリープランのメニュー数を増やすなど地元の方との接点を多くしたほか、杓形クルーズ船見送り隊を発足させまして、町民一体となって出迎えや見送りを行っております。今年の寄港は10回の寄港が予定されましたが、天候の悪化等により、8回が杓形港への寄港となりました。その内2回は杓形港で停泊が行われまして、各商業施設や各種団体との連携を図り、イベント等を開催し地元住民との交流も図っております。

また、着地型事業としては、昨年度より体験観光施設としまして、神居海岸パークを整備し、地元漁師と同じ手法でうにを獲って頂き、試食をするうに獲り体験や利尻昆布お土産作り体験なども行っているほか、利尻、島の駅では雑海藻の押し葉を使っての海藻クラフト体験等も行っており、観光客入込数の増加を目指して観光振興にも努めております。以上が本町の概要であります。本日はどうもありがとうございました。